

ホントに歩く東海道コラム 姫街道・美濃路も含め83本

1	重箱堀	今では想像しにくいですが、ビルがそびえる国道15号、東海道のすぐ隣は海だった。芝四丁目交差点は東海道最初のカーブ。	新橋・品川	第1集
2	江戸の六地藏	京都の六地藏にならい、江戸でも街道（東海・甲州・中山・奥州・千葉・水戸）の入口に地藏を安置した。品川は第一番。大きい。	品川	第1集
3	生麦事件	日本史で習った「生麦事件」。幕末、薩摩藩の行列を横切った英国人殺傷事件の舞台は東海道だ。キリンビール工場前に碑がある。	鶴見	第1集
4	保土ヶ谷通り大山道	文政期にブームとなった大山詣り。東海道の多くの宿場から大山道が出ていた。三ツ境、大和を経て海老名市望地で青山道に合流。	保土ヶ谷	第1集
5	権太坂	箱根駅伝の難所として有名な権太坂。力尽きて行き倒れる旅人がいた程。実際に選手が走るのは国道の沢筋、東海道は尾根筋だ。	保土ヶ谷	第2集
6	戸塚駅周辺の再開発	柏尾川沿いに位置する戸塚駅。そばの「開かずの踏切」も箱根駅伝の名所だった。西口バスターミナルの変貌ぶり。	戸塚	第2集
7	遊行寺	遊行寺の正式名称は「清浄光寺」。時宗の開祖一遍上人が創建した。藤沢宿は、遊行寺の門前町だった。	藤沢	第2集
8	南湖の左富士	左富士が見られるのは、東海道で2か所。これは旧道のカーブが作った風景名所。さて、なぜか？	茅ヶ崎	第2集
9	国府祭	毎年5月5日に神奈川県6つの神社が集まり、天下泰平と五穀豊穡を祈願する。相模国一之宮の座を争う座問答を儀式化。	大磯・二宮	第3集
10	国府津駅	丹那トンネルが開通する昭和9年まで、旧東海道本線の機関車庫。駅前にあった食堂「のんき亭」は、東海道沿いに移転し、営業中。	国府津	第3集
11	箱根越えの道	箱根を越える道は、時代とともに変化した。尾根道の湯坂道から、江戸時代に制定された東海道は沢筋の箱根越えとなった。	箱根	第3集
12	箱根関所	箱根は、芦ノ湖と外輪山に囲まれた要害の地。入鉄砲と出女を厳しく取り締まった。関所は、平成19年に資料館とともに復元。	箱根	第3集
13	山中の接待茶屋	江戸の呉服商与兵衛が私費で開いた箱根越えの休憩所。明治になり継いだ鈴木親子の胸像が、ヤブを漕いで行くとある。	箱根	第4集
14	三島駅	現在の御殿場線下土狩駅が、かつての三島駅だった。昭和9年、丹那トンネルができて、現在の東海道線ルートになって移転。	三島	第4集
15	桃里新田	桃里新田は、かつて「助兵衛（スケベエ）新田」だった。鈴木助兵衛親子が尽力し開発した田だが、明治41年に改称されてしまう。	原	第4集
16	浮島ヶ原	東田子の浦駅の北の自然公園は、明治初期まで大小の沼が点在した大湿地帯だった。広重「原」にも富士山とともに描かれている。	原	第4集
17	吉原左富士	田子の浦湾に近い吉原宿は、たび重なる津波の被害で三度も大きく場所を変えている。その移転で生まれたのが左富士だ。	吉原	第5集
18	由比の桜えび漁（偶然の大発見）	桜えびの水揚げ日本一の由比。実はその歴史は明治27年と新しい。しかも漁場の発見も、誤って浮き樽を落とした偶然だった。	由比	第5集
19	望嶽亭（日本史の重大な舞台）	元脇本陣。山岡鉄舟に会うため東海道を来た西郷隆盛が逃げ込み、今も残る隠し階段から海へ出て、舟で次郎長の元へ向かう。	由比	第5集
20	直進しないわけ（親不知子知らず）	薩埵峠を越えるには4つのルートがあった。参勤交代などで多く通行があった上道は、Ω型に大きく迂回する。	由比	第5集
21	ホントに歩く清水次郎長	「清水の親分」清水次郎長は本名、山本長五郎。明治の混乱の中、公共事業でも親分ぶりを発揮。巴川沿いに生家跡、墓などがある。	江尻	第6集
22	ホントに歩く徳川家康	静岡の東海道は、徳川家康の道だ。駿府は、徳川家康が人生の三分の1を過ごした土地。家康が亡くなると、家臣団が江戸へ移住。	府中	第6集
23	宇津ノ谷峠	宇津ノ谷峠には、古代から現代までの6つの道が存在する。それほど交通の要衝だ。	岡部	第6集
24	旧東海道を地形的に見る	江尻から藤枝までを地形的に検証する。安倍川、宇津ノ谷峠岡部川、葉梨川。もっとも歩くのに楽な道を通っているのがわかる	藤枝	第6集
25	消えた瀬戸山	平坦なイメージの藤枝宿の西側には、多くの小山が存在した。新幹線、高速道路。戦後の高度経済成長の歴史が東海道沿いにある。	藤枝	第7集